

# 波斯國酋長阿羅憾丘銘

波斯君丘銘一篇、石は故端方氏の藏する所にして誌は既に陶齋藏石記に収録し、攷證を付して世に出づ、今更ためて之を解くもの、必ずしも嶄新の見解を得たるが爲には非ず、一篇の墓誌、記する所其の趣味と價值とに於て頗ぶる重く、而して其の解釋に於て甚だ難きものあるを以て、廣く同志に傳へて其の教を待たんが爲なり。

大唐故波斯國大酋長右屯衛將軍上柱國

金城郡開國公波斯君丘之銘

君諱阿羅憾、族望波斯國人也、顯慶年中、

高宗天皇帝、以功績可稱・名聞□□、出

使召來、至此即授將軍北門□領、侍衛駟

馳、又差充拂林國諸蕃招慰大使并於拂

林西堺立碑、峩峩尙在、宣傳聖

教實稱蕃心、諸國肅清、于今無事、豈不

由將軍善導者、爲功之大矣、又爲

波斯國酋長阿羅憾丘銘